

令和5年度認知症介護実践者研修 カリキュラム

※毎回、8:30～受付を始めます。

| | 1組 | 2組 | 3組 | 時間 | 研修内容 | 研修のねらい |
|--------|------------------------|----------|---------|--|--------------------|---|
| 【1日目】 | 8/2(水) | 8/29(火) | 1/6(土) | 9:00～12:00 | 認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援 | 認知症ケアの倫理および倫理原則を理解し、日常的なケア場面での倫理的課題と本人や家族の意思決定や意思表示の判断の根拠を踏まえ、支援のあり方について理解を深める。 |
| | | | | 12:00～13:00 | 昼食・休憩 | |
| | | | | 13:00～17:00 | 生活支援のためのケアの演習1 | 基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、安全、安心、健康の維持増進を図りつつ認知症の本人のできる活動に着目した支援の実践ができるようになる。 |
| 【2日目】 | 8/8(火) ↓ 8/22(火) | 9/9(土) | 1/7(日) | 9:00～10:00 | QOLを高める活動と評価の視点 | 認知症の人の生活像や目標の設定、ケア実践計画の作成・立案ができる。チームで実践に関する計画の評価やカンファレンスを行う。 |
| | | | | 10:00～11:30 | 家族介護者の理解と支援方法 | 在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できるようになる。 |
| | | | | 11:30～12:30 | 昼食・休憩 | |
| | | | | 12:30～14:00 | 権利擁護の視点に基づく支援 | 権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。 |
| | | | | 14:00～16:00 | 地域資源の理解とケアへの活用 | 地域社会や関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じ、既存の地域資源の活用や認知症の人の暮らしを支える地域資源の開発の提案ができるようになる。 |
| | | | | 16:00～17:00 | 生活支援のためのケアの演習1 | 1日目と同じ |
| インターバル | | | | 自施設・事業所で3日目「学習成果の実践展開と共有」の課題に取り組む(2週間程度) | | |
| 【3日目】 | 8/22(火) ↓ 9/2(土) | 9/23(土) | 1/28(日) | 9:00～10:00 | 学習成果の実践展開と共有 | |
| | | | | 10:00～12:00 | 生活支援のためのケアの演習2 | 認知症の人の行動の背景を理解した上で、認知症の行動・心理症状(BPSD)に対してチームで生活の質が高められるような支援方法を習得する。 |
| | | | | 12:00～13:00 | 昼食・休憩 | |
| | | | | 13:00～15:00 | 生活支援のためのケアの演習2 | 同上 |
| | | | | 15:00～17:00 | アセスメントとケアの実践の基本 | 支援過程における認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状要因のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的視点を理解する。 |
| 【4日目】 | 9/2(土) ↓ 9/6(水) | 9/24(日) | 2/15(木) | 9:00～12:00 | アセスメントとケアの実践の基本 | 同上 |
| | | | | 12:00～13:00 | 昼食・休憩 | |
| | | | | 13:00～17:00 | 職場実習の課題設定 | 研修で学んだ内容を生かして、現状の認知症ケアを評価する。認知症の人が望む生活の実現に向けて適切なアセスメントを通じた課題と目標を明確にし、ケアの実践に関する計画を作成する |
| 職場実習 | | | | 【約4週間】 | | |
| 【5日目】 | 10/7(土) | 10/26(木) | 3/15(金) | 9:00～12:00 | 職場実習評価 | アセスメントや実施したケア実践計画の実施結果を整理し、客観的に評価、分析し今後の課題を明確にする。 |

※8/8(火)は、台風6号接近のため、延期とします。

※1組受講者で、新たに設定した9/6(水)に参加出来ない方は、3～5日目を2組または3組で受講してください。

(3～5日目は、同じ班・指導者で演習を行うため、「1日だけ他組で受講」という方法が出来ません。)